



(令和7年6月24日発表)

静岡市立芹沢銈介美術館 企画展

## 「絵本と装幀 芹沢銈介の本の仕事」

◆ アピールポイント	本。それは芹沢のもうひとつのフィールド。 絵本と装幀本 150 点を中心に、芹沢銈介の本の仕事をご覧いただきます。
◆ 日時・期間	令和7年7月1日(火)～9月23日(火・祝) 開館時間 9時～16時30分 【休館日】毎週月曜日(7/21, 8/11, 9/15は開館)、7/22, 8/12, 9/16
◆ 場所	静岡市立芹沢銈介美術館(駿河区登呂五丁目10-5)
◆ 内容など	芹沢銈介は、絵本や装幀本など、本に関する膨大な仕事も残しています。まず、絵本作家として『絵本どんきほうて』など、表紙や製本にも徹底的にこだわった手仕事の絵本を50冊以上残しました。また、優れた装幀家としても知られ、川端康成著『雪国』をはじめとする単行本や雑誌などを500冊以上デザインしました。加えて数多くの挿絵や小間絵も手がけています。この展覧会では、絵本と装幀本150点を中心に展示し、芹沢銈介の本の仕事をご覧いただきます。
◆ 観覧料	一般 420円 / 高・大生 260円 / 小・中 100円 ※静岡市内在住の70歳以上の方・小中学生(通学含む)・未就学児は無料 ※障がい者手帳等の提示により本人及び同伴者1名無料

別紙資料 有・無

ぜひ取材をお願いします。

▲芹沢銈介作  
『沖縄風物』(1948)▲「工藝」創刊号(1931)  
芹沢銈介装幀詳細情報は芹沢銈介美術館HPをご覧ください▶ <https://www.seribiji.jp/>

【問合せ】 静岡市立芹沢銈介美術館

(駿河区登呂五丁目10-5)

電話 054-282-5522

担当 田中・山田